

道母連だより



北海道知事
鈴木直道

新年、あけましておめでとうございます。

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

また、日頃から北海道母子福祉センターや母子家庭等就業・自立支援センターの運営、さらには、民間企業と連携した奨学金の給付、公共施設での清掃業務や保育事業の受託による就労の場の確保など、道内各地においてひとり親家庭の方々への支援活動に取り組まれるほか、様々な場面でひとり親家庭の福祉の向上や自立の促進

にご尽力されていることに心から敬意を表します。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が道民の皆様

道では、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、道民と事業者の皆様が感染リスクの低い行動を実践していただく「新北海道スタイル」の取組を進めております。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。

様に寄り添った支援を行うため、昨年策定した第四期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」や第二期「北海道子どもの貧困対策推進計画」に基づき、公的資格取得のための就労支援、母子家庭等就業・自立支援センター等における就業支援や弁護士等による養育費などの相談支援のほか、母子父子寡婦福祉資金の貸付け等による経済的な支援、ひとり親家庭等生活支援事業による子どもの学習支援などを一層推進してまいります。

新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭にあたって

理事長 畑 和子

新年あけましておめでとうございます。今年こそは！と希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、オリンピック開催で華やかなはずでしたが、コロナ禍によって、マスクの着用と新しい生活様式に一変しました。コロナが猛威をふるい、自粛生活の中、各事業所の職員のみなさんには、飛沫防止の工夫をし、うつらない、うつさないこと、一日も休むことなく継続できたことに敬意を表し感謝するのみです。

3密を避けて、会員のブロック研修会を開催しましたが、意見交換の中で、若いお母さんが「休校中の食事づくりが大変な時に、クオカードをもらい助かった」という声もあって安堵しました。

久し振りに会い、思いを声に出したことで楽しい時間を過ごしたのではないかと感じました。

コロナの終息も見通せませんが会員の高齢化の中、会員の減少など課題は山積みです。心をひとつにして組織の活性化に取り組んでまいります。

第94号

発行日/令和3年1月1日
発行/社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会
〒060-1003
札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内
電話 (011) 261-0447
●題字は山高しげり先生 ●印刷 樹アイワード